

ハートマークだより



マークの由来

医療関連サービスには、高い技術の裏付けとともにそれを提供する人々の真心や愛情が必要です。この医療関連サービスマークは、2つのハートによってより良きサービスを築き上げていくために医療機関と医療関連サービス事業者がお互いの心を通い合わせていることを意味し、3つの丸印によって国民がそのサービスに支えられていることを表現しています。

2019.7
No.14

◆ 2019.6 認定審査における主な改善指導事項について

1. 認定概況

今回は、申請件数(新規)231(15)件のうち、認定は231(15)件、非認定はありませんでした。

認定の内訳は、完全適合140(8)件、改善指導事項付82(7)件、条件付9(0)件となりました。

完全適合とは、改善指導事項が付されなかった認定をいい、改善指導事項付(条件付きを含む)とは、評価項目中に下位評価項目が付されたものです。

2. 主な改善指導事項

(1) 全業務共通

従事者研修体制

(研修体制未整備、

初任者・現任者カリキュラム未作成、
研修項目の欠落、改善見直し検討の
未実施・記録未作成)

初任者・現任者研修体制

(初任者・現任者研修の受講者欠落、
研修記録未作成、研修記録未保管、
修得状況評価の未実施)

健康管理体制

(雇入れ時健康診断・定期健康診断の
受診者欠落、産業医の未専任、
健康診断実施後の措置不適正)

自己評価実施体制

(自己評価未実施、評価記録の未作成、
評価改善検討未実施・検討結果の未作成)

(2) 業務別

① 在宅酸素療法における酸素供給装置の保守 点検業務

緊急・災害対応体制

(教育・訓練の未実施)

酸素濃縮装置・酸素ボンベの使用マニュアル

(説明未実施・使用者確認印無し)

保守点検用具管理体制

(校正マニュアル未作成、
流量計の校正未実施)

元請からの受託体制

(元請先への記録未提出・未保管)

代行対応マニュアル

(項目の一部欠落)

患者家族からの連絡体制

(患者家族連絡マニュアル未作成)

② 寝具類洗濯業務

清掃用具管理体制

(区域使用の不備)

③ 患者等給食業務

指導助言者業務体制

(設備記録の一部項目欠如、
設備実施状況の不備)

検便検査体制

(ノロウイルス規定不備)

器具・容器管理体制

(数量未確認、病院未確認)

調理機械管理体制

(実施記録不備、病院未確認)

食器管理体制

(実施記録不備、病院未確認)

④衛生検査所業務

外部委託

(外部委託先が一部未認定施設)

⑤院内清掃業務

日常清掃定期点検評価等体制

(評価記録未作成)

ストレスチェック体制

(未整備、実施報告未実施、保管管理不適正)

定期清掃定期点検評価等体制

(評価記録未作成)

受託責任者作業計画指導監督体制

(評価改善指導記録未作成、

ガウンテクニック未実施)

個人情報保護

(従事者未対処)

薬品使用管理体制

(消毒薬使用記録未作成、施錠管理不適正)

日常清掃業務以外(再委託)業務対応体制

(契約書未作成)

業務案内書

(定期見直し未実施)

標準作業書

(定期見直し未実施)

日常的健康管理体制

(記録未作成)

清潔区域清掃対応体制

(手洗い等未実施)

業務管理日誌

(未整備)

従事者管理体制

(勤務表未作成)

倫理綱領対応

(理解不足)

感染性廃棄物取扱い体制

(従事者周知未徹底)

⑥医療用ガス供給設備の保守点検業務

資器材保守点検体制

(校正マニュアル未作成)

作業報告書

(医療機関確認印無し)

再委託先体制

(契約未締結、再委託先からの記録等未徴求)

⑦院内滅菌消毒業務

(生物学的)滅菌済の確認体制

(モニターパック設置数の不足)

(化学的・理学的)滅菌済の確認体制

(モニターパック設置数の不足)

滅菌済の表示方法

(滅菌年月日の未表示)

受取・引渡し記録体制

(保管管理の不備)

交差感染防止体制

(ルート図面未作成)

医療関連サービスマークの認定について (令和元年6月1日認定分)

業 務 区 分	申請件数	認 定			非認定	認定有効事業者等の の総数	[参考]
		完全適合	改善指導等	計			
在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務	19 (0)	12 (0)	7 (0)	19 (0)	0 (0)	200 (200)	
院外滅菌消毒業務 (※)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	51 (51)	
寝具類洗濯業務 (※)	26 (2)	21 (1)	5 (1)	26 (2)	0 (0)	252 (251)	
患者等給食業務	23 (4)	16 (2)	7 (2)	23 (4)	0 (0)	177 (175)	
衛生検査所業務 (※)	24 (0)	22 (0)	2 (0)	24 (0)	0 (0)	121 (122)	
患者搬送業務	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	2 (3)	
院内清掃業務	108 (8)	49 (4)	59 (4)	108 (8)	0 (0)	1,452 (1,465)	
医療用ガス供給設備の保守点検業務	29 (1)	20 (1)	9 (0)	29 (1)	0 (0)	253 (254)	
医療機器の保守点検業務	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	4 (4)	
院内滅菌消毒業務	2 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	35 (35)	
計	231 (15)	140 (8)	91 (7)	231 (15)	0 (0)	2,547 (2,560)	

注1：左記表の数値は、事業者数(但し、(※)の業務は施設数)

注2：左記表の()内は新規再掲

注3：院外滅菌消毒業務、患者搬送業務、医療機器の保守点検業務については、今回申請なし

注4：認定有効事業者等の総数[参考]欄の()内数字は平成31年2月1日付認定有効数

◆ 「Good Job! コーナー」 「こんなに頑張ってます！」

福豊帝酸株式会社
執行役員 メディカル事業部 部長
野見山 隆一郎



弊社は、1952年10月 福岡県飯塚市に筑豊酸素株式会社を創業し、1962年9月に商号を福豊帝酸株式会社と改称。本年で創業68年を迎えます。

福岡・佐賀県を中心に、医療ガス・医療ガス設備の施工・保守・点検、在宅における医療サービスを病院・患者様に

提供しており、1995年に「在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務」サービスマークを取得して以来、24年間医療関連サービスマークの認定事業者として運営しております。

在宅酸素におけるサービスは、患者様宅での機械の設置・患者様に対しての操作説明・定期的な保守点検及び医療酸素納入・旅行対応と、患者様と接する時間は多岐にわたります。弊社では長年振興会のご指導の下、サービスマニュアル等の改善を行い、単に点検業者としてではなく、何でもご相談して頂けるような患者様・ご家族とのお付き合い方を実践しており、企業利益の追求は大切な

事ですが、安全と安心を最優先課題とし、良心的なサービスと快適な生活環境を作り出せるご提案を心掛けております。

また、患者様の対応で心掛ける基本心得を、「笑顔の挨拶」「思いやりの心」「心地よい対応」この三つを心構えとし、日々サービスの向上に努めております。

入院中の導入前トレーニングや退院後の自宅療養も含めて、主治医以外にも地域の訪問看護・介護やケアマネージャーの方々との地域連携を重ね、常にフレキシブルな視点から問題点の把握と改善を共有化し、患者様・ご家族が安心を感じて頂ける様、全スタッフの教育と育成を行い、患者様はもちろんの事、医療機関からも安心して委託されるパートナーを目指します。

平成29年7月に発生した九州北部豪雨の際は、幸いにも弊社・医療機関・患者様に大きな被害が及ぶ事はございませんでしたが、安定的にサービスの供給が行える体制を確立する事は、地域への社会貢献であり、サービスマーク認定事業者としての社会的使命と考えております。今後も弊社は、サービスマーク認定事業者として常に患者様目線でサービスの向上を図り、患者様の社会的地位の向上・医療や福祉の更なる発展の為に、誠心誠意努めて参ります。

◆ 医療現場からの声

医療法人社団永生会
法人本部長 春日井 久



当法人は、1961年(昭和36年)に八王子市に個人病院として誕生、1973年(昭和48年)に医療法人社団永生会を設立し、八王子市を中心に「医療・介護を通じた街づくり・人づくり・思い出づくり」を理念に、医療と介護の連携を図り、切れ目のないヘルスケアを総合的に提供しております。

また、永生病院(一般病棟146床、回復期リハ病棟100床、精神病棟130床、地域包括ケア病棟50床、医療療養病棟50床、介護療養病床72床)、東京都指定2次救急医療機関である南多摩病院(一般病棟170床)、平成30年3月に開設し緩和ケア病棟を有した、みなみ野病院(一般病床25床、回復期リハ病棟60床、医療療養病床120床)、在宅診療を中心とした永生クリニック、クリニック0(ゼロ)、今年4月に保険診療を開始し訪問診療を中心としたクリニックグリーングラス、介護老人保健施設(イマジン、マイウェ

イ四谷、オネスティ南町田)、認知症グループホーム寿限無、訪問看護ステーション(とんぼ、ひばり、いるか、めだか、口笛)、居宅介護支援事業所(えいせい、片倉、ぴあの)が、八王子市から委託を受けて地域包括支援センター(2か所)を運営しております。法人内のみならず他の法人や地域の方々とも連携をしながら、信頼される存在になる法人を目指しております。

各施設で自営するには負担が大きい、清掃委託、寝具類委託、給食委託、保守委託、検査委託などは効率を考え、専門業者に協力をお願いしております。患者様、利用者様からのニーズも多種多様となっておりますが、それに応えるためには、業者の皆さまの協力は必要不可欠と考えております。また、職員の環境改善にも業者の皆さまにはご尽力いただいております。私たちと同じ目線で患者様、利用者様に親身になって対応していただける業者の皆さまと共に取り組んでいきたいと考えております。今後も当法人の理念である「医療・介護を通じた街づくり・人づくり・思い出づくり」を目指すパートナーとして、協働していきましょう。

◆ トピックス

●在宅医療にかかる地域別データ集／厚生労働省

厚生労働省は、在宅医療にかかる地域別データ集の集計を更新しました。1,741 の基礎自治体について、在宅医療に関与した施設数を集計しています。詳細は、同省のホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000061944.html>) をご参照ください。

●ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の愛称を「人生会議」に決定し、ロゴマークが選定されました／厚生労働省

「人生会議」とは、もしものときのために、自身が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。また、11月30日を「人生会議の日」とし、人生の最終段階における医療・ケアについて考える日として啓蒙しています。詳細は、同省のホームページ (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html) をご参照ください。

●平成30年の労働災害発生状況を公表／厚生労働省

厚生労働省は、平成30年の労働災害発生状況を取りまとめ公表しています。休業4日以上之死傷災害において、事故の型別では、1位「転倒」、2位「動作の反動・無理な動作」、3位「墜落・転落」と続いています。詳細は、同省のホームページ (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_04685.html) をご参照ください。

●「テレワークデイズ2019」の実施について／厚生労働省

厚生労働省は、2019年7月22日(月)～9月6日(金)の約1ヵ月を「テレワーク・デイズ2019」実施期間とし、2020年オリンピック東京大会前の本番テストとして、多様な働き方の奨励をしています。詳細は、テレワーク・デイズ特設サイト (<https://teleworkdays.jp/>) をご参照ください。

◆ 今後のスケジュール等

〈令和元年8月〉

医療関連サービスマーク認定審査委員会開催日
(令和元年10月1日認定分)

〈令和元年9月〉

2日(月) 第258回月例セミナー

テーマ：地域包括ケアシステムから考える
「ポスト一体改革」時代の医療と介護

講師：青柳 親房 氏
(新潟医療福祉大学 社会福祉学部
社会福祉学科 教授)

会場：日比谷コンベンションホール
(千代田区立日比谷図書文化館内)

医療関連サービスマーク認定の申請書類受付
(令和2年2月1日認定分)

2日(月)～17日(火) 衛生検査所業務

17日(火)～30日(月) 在宅酸素療法における酸素
供給装置の保守点検業務、寝具類洗濯
業務、患者等給食業務、医療用ガス供
給設備の保守点検業務、院内清掃業務、
院外滅菌消毒業務、院内滅菌消毒業務、
患者搬送業務、医療機器の保守点検業務

4日(水) 衛生検査所調査指導中央委員会
12日(木) 患者等給食部会
医療用ガス供給設備の保守点検部会
18日(水) 寝具類洗濯部会
滅菌消毒部会
19日(木) 患者搬送部会
20日(金) 医療機器保守点検部会
在宅酸素供給装置の保守点検部会
衛生検査所専門部会

24日(火) 院内清掃部会
26日(木) 評価認定制度委員会

〈令和元年10月〉

15日(火) 第259回月例セミナー

テーマ：多死時代を迎えて在宅医療を主流に
講師：田中 耕太郎 氏
(放送大学 客員教授)

会場：日比谷コンベンションホール
(千代田区立日比谷図書文化館内)

ハートマークだより

発行：一般財団法人医療関連サービス振興会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-11-11 第二フナトビル 3F

TEL：03-3238-1861 FAX：03-3238-1865

URL：<https://ikss.net/>